

令和5年度 【 数学 】 科 授業改善推進プラン

大田区立安方中学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

1学年は区平均よりは高いが、全国よりは低い。2学年は区・全国よりともに高い。3学年は区・全国よりともに低い。高い分野の成果としては、立式やその後の計算の仕方、より細かく丁寧に指導し、なぜそうなるかを理解できるような説明や、納得しやすい例題を提示しながら授業を展開した。また、数学への興味を持たせたうえで、基礎・基本の理解と定着に重点をおき、それを使って応用的な問題ができる力、基礎的・汎用的能力を育ててきた。

(2) 課題

基礎力が定着していない生徒に対してのフォローが必要であると感じる。そこで、習熟度別による少人数指導を取り入れ、支援の必要な生徒の個別指導を行っていく。また、基礎的な内容を理解している生徒に対しては、既習事項を確認しながら、新たな学習内容の定着も図っていく。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

	令和4年度結果	令和3年度結果	令和2年度結果
第1学年	区の標準スコアよりも上回っている。	/	/
第2学年	区の標準スコアよりも上回っている。	区の標準スコアよりも上回っている。 (第1学年時)	/
第3学年	区の標準スコアよりも下回っている。	区の標準スコアよりも上回っている。 (第2学年時)	区の標準スコアよりも下回っている。 (第1学年時)

(2) 分析（観点別）

① 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
区の目標値より、校内平均正答率が上回っている。	区の目標値より、校内平均正答率が上回っている。	区の目標値より、校内平均正答率が上回っている。

② 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
区の目標値より、校内平均正答率が上回っている。	区の目標値より、校内平均正答率が上回っている。	区の目標値より、校内平均正答率が上回っている。

③ 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
区の目標値より, 校内平均正答率が上回っている。	区の目標値より, 校内平均正答率が下回っている。	区の目標値より, 校内平均正答率が下回っている。

3 授業改善のポイント (観点別)

(1) 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
タブレットドリルなどを活用し、苦手分野の克服や基礎的・基本的な内容の定着を目指す。	既習事項を用いて式をつくることや事象を考察することで基礎的・基本的な内容の定着を目指す。	グループ学習や発表を取り入れ自ら進んで学習に取り組む姿勢を育むよう指導する。

(2) 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
タブレットドリルなどを活用し、演習量を確保し、苦手分野の克服など基礎的・基本的な内容の定着を目指す。	既習事項を用いて、そこから事象を考察することで基礎的・基本的な内容の定着を目指す。	グループ学習や発表を活用し自ら進んで学習に取り組む姿勢を育むよう指導する。

(3) 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
演習をとおして既習事項の確認を行い基礎的・基本的な内容の定着を目指す。	より複雑な事象を考察し、それに適した知識を用いて問題を考えることで基礎的・基本的な内容の定着を目指す。	自分の進路に適した課題を設定し自ら進んで学習に取り組む姿勢を育むよう指導する。